

令和4年度第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立思斉支援学校
校長名	井上 昌二

開催日時	令和5年2月17日（金）10:00～10:50
開催場所	府立思斉支援学校 3階 学習室
出席者（委員）	栗山会長（太子橋小校長）、赤坂副会長（今市中校長）、 三木委員（旭区障がい者基幹相談支援センター）、 山中委員（豊里学園長）、井上委員（PTA 役員）
出席者（学校）	井上校長、上野事務長、紙野教頭、末吉教頭、 橋本首席、酒井首席、村上首席、中務首席
傍聴者	0名
協議資料	令和4年度 学校経営計画及び学校評価 令和5年度 学校経営計画及び学校評価 令和4年度学校教育自己診断票 結果 学校教育自己診断の結果分析と課題について 思斉支援学校のキャリア教育について

議題等（次第順）
<ol style="list-style-type: none"> <li>1、校長あいさつ</li> <li>2、令和4年度 学校経営計画 達成状況について</li> <li>3、令和5年度 学校経営計画 めざす学校像及び中期的目標について</li> <li>4、令和4年度 学校教育自己診断結果と分析について</li> <li>5、思斉支援学校のキャリア教育 報告</li> <li>6、その他</li> <li>7、事務連絡</li> <li>8、作品展見学</li> </ol>
協議内容・承認事項等（意見の概要）
<p>2、令和4年度 学校経営計画達成状況について</p> <p>達成状況の詳細は、協議資料「令和4年度 学校経営計画及び学校評価」を参照。 それぞれの中期的目標に対して設定している具体的な取り組み（22項目）について 達成状況を説明した。</p> <p>■質問・意見等</p> <p>委員A) 相談室の設置について</p> <p>相談を受けられるのは児童生徒だけなのか。保護者が対象かと考えていた。</p> <p>首席) 今回は児童生徒を対象にしているが、事業が軌道に乗ってきたら、保護者も対象にしようという構想はある。</p>

委員B) ヒヤリハットについて

生じた事案がヒヤリハットとして認知され、確実に報告されるように仕組みができて  
いるのか。

校長) ヒヤリハットは事象の捉え方次第でさらに認知件数が増えると思われる。

厳密にいうと機能できていない面もある。

3、令和5年度 学校経営計画 めざす学校像及び中期的目標について（変更点）

	令和4年度	令和5年度
めざす 学校像	◎「明日も行きたいと思う学校」 ◎ 地域で豊かに生きていく力の育成を めざす。本校において、豊かに生きてい く力とは、 1 豊かなところ 2 楽しむ力 3 体力 4 コミュニケーション力 の4つの 力を重点とする。	◎「明日も行きたいと思う学校」をめざす。 ◎ 地域で豊かに生きていく力の育成を めざす。本校において、豊かに生きてい く力とは、 1 豊かなところ 2 楽しむ力 3 体力 4 コミュニケーション力 とする。

	項目	令和4年度	令和5年度
中期の 目標	1	安心安全な学校生活を送る体制をつ くる。(新型コロナウイルス感染症に かかる対応を含む)	安心安全な学校生活を送る体制をつ くる。
	1-(2)	子どもの生命・健康を守る。	児童生徒の生命・健康を守る。
	3	小学部中学部高等部の継続性のある 系統的なキャリア教育を実践する *学校教育自己診断 教職員アンケ ートにおいて R6 年度まで肯定的意見 80%以上の維持をめざす。(R3 80%)	小学部中学部高等部の継続性のある系 統的なキャリア教育を実践する *学校教育自己診断 教職員アンケー トにおいて R6 年度まで肯定的意見 80%以上の維持をめざす。(R4 83%)
	4-(2)	相互に尊敬する気持ちを育むため学 校間交流を計画的に実施する。	相互に尊敬する気持ちを育むため交流 及び共同学習を計画的に実施する。
	4-(3)	ホームページ等の活用を図る。	ホームページ等の活用・充実を図る。

4、令和4年度 学校教育自己診断結果と分析について

詳細な学校教育自己診断の結果と分析は、  
協議資料「学校教育自己診断の結果分析と課題について」を参照。

	保護者	児童生徒	教職員
回収率 児童生徒は回答人数	72.6%	137人	100%
肯定的回答が 90%を超える項目	17項目 (全27項目中)	6項目 (全17項目中)	8項目 (全39項目中)
否定的回答が 30%を超える項目 (保護者は20%)	3項目 (全27項目中)	4項目 (全17項目中)	9項目 (全39項目中)
分析(概観)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策に関する項目は肯定的回答92%と高く評価された。</li> <li>・否定的回答が20%を超えた3項目は、前年と同項目である。(施設設備・交流・HP)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全17項目中、13項目は肯定的回答である。</li> <li>・否定的回答が30%を超えた4項目は、前年と同項目である。(相談体制・校長先生の話・交流・HP)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的回答が90%以上の項目は前年比6増、否定的回答が30%以上の項目は前年比4減。</li> <li>・安全指導、ICTの活用、授業や行事は高評価。</li> <li>・働き方改革、研修等の伝達は低評価。</li> <li>・否定的項目は全て改善傾向にある。</li> </ul>
来年度の重点課題			<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修・研究に参加した成果を伝達する仕組みの構築。</li> <li>・初任者や経験の浅い教職員を育成する仕組みの構築。</li> </ul>

■質問・意見等

委員C) 学校教育自己診断について

アンケート用紙は不登校の児童生徒には配布しているのか。

アンケートに記入できる、質問に答えられる児童生徒はよいが、答えるのが難しい児童生徒もアンケートに参加できるように方法を考えるべきではないか。

首席) 不登校の児童生徒には、配布できなかったケース、配布したが回収できなかったケースもある。アンケートの回答者が一部の児童生徒となっている点は、課題としてとらえており、改善策の検討が必要と認識している。

#### 5、思斉支援学校のキャリア教育について

詳細な内容は、協議資料「思斉支援学校のキャリア教育について」を参照。

次のキャリア教育に関する取組みを発表した。

- ・キャリアプランニングマトリクスの作成と授業への展開
- ・学部間交流
- ・職業コースの取組み
- ・難波支援学校との共同学習
- ・子どもの変容（自己評価）

以上説明し、了承された。

次回の会議日程	
日時	未定
会場	思斉支援学校 学習室